
アタシの望

愛莉

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

アタシの望

【著者名】

愛莉

N6380D

【あらすじ】

何故アタシはココにいるんだろう…何のために生まれてきたのだろう…アタシつてこの世界についていいのかな…アタシがこの世にいる価値って…何??全てはこの日から始まつたんだ。

第一章 ハブ

第一章 ハブ

『おはよー』

「…」

『えへー！？シカトッ（笑）』

「…」

このときは、みんなフザケてるんだなってに思いながら自分の席に着こうとしたの。

そしてイスに座ろうとイスを引いたらイスの座面に手紙が置いてあつたんだ。何これ？？って思つて中を見てみたら…

「知つてた？？千菜には本当の友達がいないんだよ。なのに自分が人気者だと思い込んでる…（笑）バカだよね。」

つて書いてあつたんだ。昨日までめちゃくちゃ仲良かつた真由たちがそんなこと思つていたなんて……そしたら真由たちがこっちに来てこう言つたの。

「もしかして、被害者だと思つてる？？もしそうだつたら困るわ…

（笑）だって、あんたは加害者だもん。被害者はウチらだし（笑）

『…』

「まあ精々ハブ生活を楽しみな」

真由たちはこう言い残して去つていったの。

アタシなんかしたかな…、色々考えてみたけど心当たりがない。だからアタシは真由たちに聞いてみたの。もしかしたら何か気にさわる事でもした？？つてね。そしたら

「自分自身でどう思う訳？？あんたは何もしていないよ。ただ単にウチらが遊んでるだけ。（笑）」

『…』

「あつーそつだ。これからウチらに話しかけるのは一日3回までね。

耳障りだから。（笑）」

こんな感じで中1の2学期からアタシのハブ生活が始まったんだ。
もしもアタシが真由たちに何か悪いことやヒドイことをして嫌われ
たりしたんだつたら、まだ望みがあるけど、ただ単に真由たちが遊
んでるだけならアタシが頑張つたって意味ないよね…。

だけどお父さんやお母さんに言えなかつた。恥ずかしいもん。虚め
られてるなんて、言えるわけないじゃん。だから凄く孤独だつた。
この時アタシが思ったコト。

何故あたしはココにいるんだろう…

何のために生まれてきたのだろう…

アタシつてこの世界にいていいのかな…

アタシがこの世にいる価値って…何??

こんなコトを思つてる自分が恥ずかしかつた。けどこれ以外考えら
れるコトなんて一つもなかつたの…。

第一章 恋愛

第一章 恋愛

週末に真由からメールが来た。

「今から遊びに行つてもいいかな??」

アタシは、もしかしたら真由たちが謝りに来るのかなつて少し期待してたんだ。だから返事でいいよって送つたんだけど、そのあと返事が来なくて、しかも、その日に真由は遊びに来なかつた。

次の日学校に行つたら真由が

「あれえ！？もしかして昨日のメール本氣でとつちやつたりとかした？？（笑）」

アタシはバカにされるのが嫌でウソついた。

『なわけないじやん。試してみただけだし。つてか、アタシのメール本氣でとつちやつたんだ…（笑）マジビճճだしひ。』
つて逆にカマをかけてみたの。そしたら

「最悪。何コイツ」

つて言われちやつた。真由つたらじゅうゆうコトには頭いいんだよね。アタシはこれ以上話していくも切りがないと思つたからシカトしちやつた。（笑）そしたらこれ以上話しかけてこなくなつた。

この日の3時間目授業は班を作つて班のメンバーと一つの新聞を作つていう課題だつたんだけど、まさかアタシを誘つてくれる人なんか1人もいないから、クラスの中心的グループの男子に頼んで男子グループに入れてもらつた。そしたら真由の仲間で最近ちょっと折り合いが悪かつた亜美にこう言われたの。

「ハブちゃん。あんたさあ、どんだけ男好きなのお？？ウチらもビックリしちゃうんだけどお…。まあ所詮ハブだけど。（笑）」

さすがにこれにはムカついて、勝手にビックリしてろよ性格ブス！

！って思っちゃった。そしたらアタシが前から気になつてた唯斗が

「大丈夫か！？何かあつた？？」

つて心配してくれた。やっぱ惚れるわあ…。つてか男子つて女子の
事情とか何にも知らないのね。アタシにできるコトだよ。それは男子
を味方に付けるコトだよね。…アタシにそんなコトできるかなあ（
泣）。まあ頑張るぞッ！！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6380d/>

アタシの望

2010年12月21日21時38分発行